**二葉一丁目町会　瀧澤　博昭さん**

二葉一丁目町会の瀧澤と申します。生まれは(米どころ)新潟です。二十歳で品川区東品川に約10年住み、今二葉町に住んでいます。当時はタコ公園に大きな樹木が多く有り夏は蝉も多くいました。学校には桜が咲きとても自然が多い環境と思い決めました。約30年に成ります。当時知り合いも少ない時、大間窪小学校は毎年恒例の夏祭りを行っていました。グランドでキャンプファイヤーや花火大会など、その時PTAの手伝いで参加し一緒にイベントを盛り上げて、子供達も大人も楽しみました。今はその時のメンバーで「おやじの会」と言う名で頻繁に情報交換し楽しんでいます。

　その頃近隣の方に誘われて町会のお祭りに参加し、御神輿を担がせて貰いハマリました。見てるのと違い迫力、活気を感じました。初対面の自分に沢山声をかけてもらい感謝しています。

　その後も餅つき大会、お花見会と参加するように成り、多くの人と知り合えました。町で会えば声を掛けられこちらから会話する様に変わりました。今は役員の仕事もさせて貰いながら2020年からは地区委員として活動させて頂いています。この年からコロナ禍でイベントが中止に成りましたが、昨年からボッチャ、モルック大会が出来るようになりました。子供達、大人の楽しんでいる笑顔を久しぶりに見ました。自分も楽しみました。これからもイベント回数を増やしてみんなで良い思い出作りをしたいです。コロナが早く終息し、みなさんがまた笑顔で暮らせる事を願っています。

次回は、戸越小学校にバトンタッチ

**～令和五年 謹賀新年～あけましておめでとうございます**

荏原第五地区にお住まいの皆さま、二〇二三年もどうぞよろしくお願い致します。寒さだけではなく、新型コロナウイルスへの配慮が欠かせない日々が続いておりますが、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

　支え愛・ほっとステーションでは、地域の身近な福祉の相談窓口として、地域にお住いの方同士の助け合いのお手伝いをしております。

　また、住み慣れたこの街で安心して住み続けられるよう、一緒に地域のことを考えてくださる『地域のお仲間（ボランティア）』を募集しております！「近所の方のことが気になるけれど、何かできることはないか」と思っている方、「空いた時間に何か出来ることはないか」と考えている方など、お住まいの地域の中で、何かやってみたいという方は、ぜひ支え愛・ほっとステーションにお電話ください。

　「出来ることを出来るときに！！」

　一緒に「助け合いの輪」を広げていきましょう。

　「これなら私も手伝える」というお声をお待ちしております。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、参加は事前予約制としております。また、感染症の流行状況により中止となる場合があります。参加をご希望される方は荏原第五支え愛・ほっとステーションまでご連絡ください。お飲み物は各自ご持参ください。

　参加者からは「みなさんのお話を聞いているのが楽しい」「ここで知り合いが出来た。つながりを感じる」など、感想をいただいております。ご興味のある方がいましたら、支え愛・ほっとステーションまでお問い合わせください。